

# 阿南ぶらりまち紀行 ～地域の輝き～

ふるさと「阿南市」のすばらしい魅力を再発見!

第99回

あせんだ峠の会(羽ノ浦町)



発行/平成26年(2014年)9月1日 [674号]  
 編集/阿南市企画部秘書広報課 〒774-8501 阿南市富岡町ノノ町12番地3 ☎0884-22-1110 e-mail: hisho@city.anan.tokushima.jp  
 印刷/米崎印刷株式会社

立江町青向から羽ノ浦町岩脇に通じる「阿千田越え」と呼ばれる峠道は、古来、人々の暮らしを支えた生活道で、1185年の屋島の戦いの際に、源義経率いる軍勢が駆け抜けたとされる由緒ある道である。歴史の痕跡を残す貴重な古道を守ろうと、近隣の住民が「あせんだ峠の会」を結成し、道の復元や清掃作業に取り組んでいる。代表の穴山貴雄さん(73歳・羽ノ浦町)の案内で峠を歩いてみた。

春日野団地から西へ約300メートルの所に、「阿千田越え」と大書された道標が立てられている。かつて、立江方面から向山を越えて岩脇方面(阿千田)に向かうことをそう呼んでいた。道中には、弘法大師ゆかりの「据風呂谷遺跡」がある。「生活を支える庶民の道は、立江寺の奥の院、取星寺を迂回して鶴林寺に向かう巡礼の道でもあったのです」と穴山さん。歴史をひもとくと、目には見えない峠の魅力に気づかされる。昔日をしのび、いわれを語り継ぐことで、地域に誇りとにぎわいを創出できるのではと考えた。



①峠口に立つ道標  
 ②据風呂谷遺跡  
 ③ギャラリー「阿千田橋」の掲示板についた木札歩記。訪れた人々が所感や夢を記している。

「いつちよやつてみるか、と一念発起したのは2012年元日。地権者の協力を得ながら、昔日の土佐街道」と愛称をつけ、両町の有志とともに峠道の再生に取り組んできました。普段は健康づくりの道として歩いていただき、春秋には親子を招いて、たけのこ掘りや栗拾いを楽しんでもらおうと計画を進めています」

春日野団地整備当初から40年。「ここで生きたという証がほしいし、心のふるさとをつくりたい。そして伝承したい」とも。時代の変遷の中で忘れられた道に、再び光が当たろうとしている。11月9日には、阿千田峠を舞台に、四国遍路開創1200年記念「徳島再発見!第240回徳島ワンデーウォーク」が開催される。山頂付近に設けられた「ギャラリー「阿千田橋」で木札に所感をしたためれば、もう旅人気分。古道に魅せられ、古道をみせる人々の思いに触れながら、歴史散策を楽しんでみてはいかがだろうか。

